

編集後記

『美味しい牡蠣を食べたければ、森を育てることが大事。モノづくりも同じで、今の子供たちをしっかり育てないと、東北の復興はおろか、日本の未来はない。』と恩師に声を掛けられ、仙台に行った。小学生にミニ四駆®を組立てさせ、どうすれば速く走れるかを考え、改造をして競争させるイベントを開催した。子供たちは真剣な眼差しでレースに取り組み、満面の笑みで応えてくれた。理科離れ、技術離れを嘆く前に、技術者として出来ることは沢山ある。震災から3年半、インフラの復興はもとより、子供たちへの継続的な教育支援が求められている。

*ミニ四駆は株式会社タミヤの登録商標です。

(稲田)

今回、久しぶりに編集委員を担当させていただきました。ジェイテクトになって9年、会社規模は光洋精工時代と比べて格段に大きくなりましたが、製造業であることには変わりはありません。

製造業である以上、技術が最大の拠りどころ。

グローバル化で競争が激化している今だからこそ、その技術をいかにアピールするか、いかに

自社技術の優位性、先進性を示していくかが重要と考えます。そのためには、今まで以上に基盤技術への注力と、そこで得られた成果を積極的に発信していく必要があります。本誌はその重要な役割を担うものであり、微力ではありますが私もそれに貢献していきたいと考えています。(立石)

編集作業を通じ、工作機械事業部で開発している機械、装置バリエーションの多さを改めて感じました。それぞれの製品において、目標性能を達成するために、さまざまな工夫がなされています。技術者の苦勞の結晶であるその工夫やノウハウが、商品間で共有できれば、さらに良い商品ができます。また、開発設計者として実現したいと強く思っています。

限られたリソースで最大限の効果を発揮するためには、マーケティングと企画力が最重要となります。今後は、さらに世の中の潜在的ニーズを正確に分析し、技術的にワクワクする商品を開発して、お客様に喜んでもらえる商品開発をしていきたいです。そのためには、日本人が得意のチームプレーが勝負の鍵だと思っています。ジェイテクトの皆様、協力お願いします。(出口)

JTEKT ENGINEERING JOURNAL

No.1012 (2014)

発行 2014年10月

編集委員会
委員長 近藤則人
委員 稲田 豊 石橋仁也 榎 俊光
関本 浩 立石佳男 出口真司
水野俊之 宇野禎二

事務局 中野 淳 奥村朋子 蔵留昭司
井田江里子

発行人 瀬川 治彦
編集人 編集委員会
発行所 株式会社ジェイテクト 技術本部
〒634-8555 奈良県橿原市十市町333番地
Tel 0744 (24) 5964
Fax 0744 (22) 8015

印刷・製本 デジタル総合印刷株式会社
〒546-0002 大阪市東住吉区杭全2-10-1

© COPYRIGHT 2014 BY JTEKT CORPORATION

お願い：JTEKT ENGINEERING JOURNALの送付先の変更あるいは取消に関するご連絡は下記へお願い致します。
営業本部 営業統括部 Tel 06(6245)2220 Fax 06(6244)0814